



齋藤 聖美

ジェイ・ボンド東短証券
代表取締役

予想もしなかった キャリアの展開

ひょんなことから、ハーバード・ビジネススクールに入学した。ハーバードMBAの学位は役員室への鍵といわれる。それだけに、その授業の厳しさは想像を絶するものだった。とくに英語のおぼつかない私にとっては、涙の日々。ビールの大ジョッキを掲げて満面の笑みを浮かべている写真は授業が始まる前日のもの。奇跡的に卒業できたときまで、こんな笑顔は出てこなかったが、おかげで役員室への鍵は手に入った。

卒業後、外資系化粧品会社のマーケティング部長を短期間務めた。メーカー製品担当者から、「再来年の口紅の色、どれにしましょう?」と聞かれ、「どれでもいいんじゃない」と答えそうになって、これはまずいと転職を決意した。転職先のモルガン・スタンレーでは東京とNY本店で勤務したが、ロックフェラーセンターの売却にかかわるなど、エキサイティ

ングな経験ができた。

2000年に日本国債の電子取引システムを提供するジェイ・ボンド証券を起業。2009年に東京短資の傘下に入り、本邦唯一のレポ取引プラットフォームを運営している。

2014年のある日、「後任会長を探しているんだけど」とバスケットボール女子日本リーグ(WJBL)専務理事を務める友人が相談してきた。私がお茶の水女子大附属高校で畑先生がコーチするバスケット部に所属していたことを知ると、彼は「決め!」としてしまった。畑先生はバス界で知る人ぞ知る有名コーチ。その教え子というだけで麻生太郎副総裁の後任会長になってしまった。東京オリンピックでの銀メダル獲得の快挙は、最高の会長退任プレゼントだった。

大学を卒業して50年。予想もしなかったキャリアの展開に驚きつつ満喫している。



この翌日から厳しい日々が始まった



モルガン・スタンレー証券時代、『THE21』1985年4月号「NEW ACTIVE WOMAN」に掲載された写真



東京オリンピックでバスケットボール女子日本代表監督を務めたトム・ホーバス氏(現バスケットボール男子日本代表ヘッドコーチ)と